



(このスクリプトは審査チームブリーフィングで述べる事項についての指針です。詳細は公式のルールブックをご参照ください)

時間	担当	内容	備考	会場係
	審査員長	<p>私は今回コンテストの審査員長を務めます〇〇です。</p> <p>本日はコンテストのためにお越し頂き、また、ご協力頂き誠にありがとうございます。</p> <p>はじめに、出欠確認をいたします。名前を呼ばれましたら、返事をお願いいたします。その後、必要書類をお渡しします。</p> <p>(同点決着審査員はブリーフィングに参加しません。</p> <p>審査員長は同点決着審査用紙を手渡します。必要であれば同点決着審査員に概要をお話します。また同点決着審査用紙は審査員長が直接回収します。審査員長のみ同点決着審査員が誰であるかを知ることができます。詳細はルールブックをご確認ください)</p> <p>審査員</p> <p>〇〇さん(審査用紙と審査基準を渡す)</p> <p>〇〇さん(審査用紙と審査基準を渡す)</p> <p>以下繰り返し</p> <p>計時係 2 名 〇〇さん、〇〇さん(時間記録用紙を渡す)</p> <p>集計係 3 名 〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん(集計用紙を渡す)、どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>今回のコンテストはトーストマスターズインターナショナルのスピーチコンテスト規則の 20●●年版邦訳に基づいて行います。</p> <p>皆さんは事前に規則及び審査基準を閲覧して頂けたことと思います。</p> <p>これから審査基準の概要説明を行い、その後で計時係、集計係の説明を行い、最後に守秘義務についてお話します。</p> <p>もし質問がありましたら、その時に割って入って遠慮なくご質問下さい。</p> <p>審査基準の説明</p> <p>審査は100 点満点で行います。内容(50%)構成(30%)言語(20%)と配分し、さらに細かい項目に分けられています。</p> <p>裏面の審査基準をご確認ください。</p> <p>(各項目を読み上げ、質問時間を設けます)</p> <p>(スピーチエリアについて説明いたします)</p> <p>重要な点は審査員倫理規定です。</p>		

		<p>以下のように書かれております。(各倫理規定をよみあげる)</p> <p>審査にあたっては出場者の過去の実績や、過去や現在のスピーチ、出身クラブなどにとらわれず、今日行われたスピーチのみに絞ってできるだけ客観的に審査してください。</p> <p>またスピーチの順番にとらわれないで、審査をしてください。</p> <p>1 番目のスピーカーを基準として他のスピーカーを無意識に審査しがちです。また最後のスピーカーを他のスピーカーよりも好意的に審査しがちです。スピーチの順序にとらわれず、公平に個々のスピーチを審査するように最大限の能力を発揮して頂きますようによろしくお祈いします。</p> <p>スピーチとスピーチの間の1 分間の沈黙時間に審査を行い、点数を出してください。各スピーチを聞きながらノートを取ることをお勧めします。なぜなら、点数を出すときに参考になるからです。</p> <p>最後のスピーカーが終わりましたら、審査員は1 分間の沈黙時間に採点をします。さらに集計時間を設けますので、1 位から3 位までを投票用紙に記入してください。投票用紙には各スピーカーのフルネームを記入し、各順位に対して1 名以上の名前を記入してはいけません。各順位に対して1 名ずつ名前を記載してください。</p> <p>何らかの理由で空欄のまま提出すると、あなたの投票は無効となります。最後に署名をお願いいたします。</p> <p>署名がないものは無効となりますので、今ここで署名(サイン及び活字体)の記入をお願いいたします。</p> <p>投票用紙は審査用紙から切り離して集計係にお渡しください。</p> <p>よろしくお祈いします。</p> <p>質問はありますか?(少し待って、何もなければ次に進む)</p> <p>次に計時について(計時係)です。</p> <p>最初に、ストップウォッチで時間を計測する人と、信号(緑、黄、赤)を提示する人を決めてください。</p> <p>スピーチの長さは、4 分 30 秒以上7 分 30 秒以下です。</p> <p>出場者は、4 分 30 秒より短くまたは7 分 30 秒より長いスピーチは失格となります。スピーチはコンテストが言葉を発するか、言葉によらなくても聴衆と明確なコミュニケーションをとった時点で計測されます。</p> <p>緑の信号は5 分で掲示します。</p> <p>黄の信号は6 分で掲示します。</p> <p>赤の信号は7 分で掲示します。スピーカーが7 分 30 秒を過ぎてもスピーチが終わるまではカードを提示してください。</p> <p>なお、信号は出場者にだけ見えればよいので、審査員や聴衆には見えなくても構いません。</p> <p>先ほど述べましたが、各出場者のスピーチが終了した後、審査のために1 分間の沈黙時間を設けます。各計測後は、コンテスト委員長にお知らせ下さい。最後に審査員が集計するための時間を設けますが、これは計時する必要はありません。</p>		
--	--	---	--	--

		<p>コンテスト終了後、時間記録用紙へ記録を記入し、時間不足、時間超過者を明確にして、審査員長に渡してください。</p> <p>質問はありますか？（少し待って、何もなければ次に進む）</p> <p>次に集計系の説明をします。 最後のスピーカーが終了すると、集計するための沈黙時間があります。審査員は投票用紙の記入を終了しています。集計系の方はこの時に審査員から投票用紙を回収してください。そして審査員長と集計系は別室で集計いたします。審査員長が最後に最終確認します。集計系の方はどの審査員の投票用紙を回収するか、今ここで決めてください。</p> <p>最後に、審査員はコンテストスピーチの独自性に関する異議がありましたら、スピーチ終了後に直ちに審査員長またはコンテスト委員長にお申し出ください。必要に応じ、スピーカーに配慮しながら異議について審査員と審査します。また結果発表に関して間違いがある場合には集計系、計時係から直ちに割って入って訂正してください。結果発表のあとはいかなる場合でも結果の訂正はできません。</p> <p>守秘義務について（審査委員、計時係、集計係） なお、審査結果、時間オーバーなどの情報はコンテスト終了後も口外することが禁じられています。スピーカーの獲得点数や各スピーチ時間についても同様に口外してはいけません。</p> <p>ご質問ありますか？（少し待って、何もなければ次に進む） ご清聴頂き誠にありがとうございました。</p> <p>素晴らしいコンテストにしましょう！</p>		
--	--	---	--	--